



「つたえるねっと」
で農作業情報を
随時配信!

橋本資材センター

……TEL.0736-33-2300

かつらぎ資材センター

……TEL.0736-22-7822



4月の農作業

※表内の網掛け(□)の農薬を購入する場合や、毒劇物農薬を購入する場合は必ず印鑑を持参してください。印鑑のない方には販売することができません。

落葉果樹

接ぎ木と摘蕾を実施しましょう

柿は展葉期、新梢伸長期を迎え、摘蕾作業など管理作業が本格的に始まります。桃、スモモなどの夏果実類も開花期を迎え、受粉作業や防除など忙しくなってきます。また、気温の上昇に伴って雑草の生育が旺盛になりますので、作業に集中して臨めるよう園地の除草を行ってください。

●柿の摘蕾

柿の摘蕾は、秀品生産や生理落果、隔年結果ハタスキ軽減のための重要な作業です。刀根早生・平核無は蕾の形が確認できる頃から、富有柿は遅れ花(一番花)が除去できる頃から始めましょう。作業の遅れは貯蔵養分の浪費につながりますので、開花するまでに終わらせるようにしましょう。

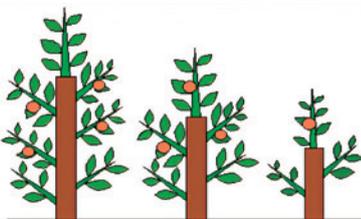


○摘蕾の方法

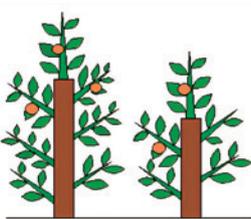
1 結果枝に1蕾とし、葉が5枚以下の弱い枝についた蕾は除去してください。

残す蕾は結果枝中央の下向きもしくは横向きものにし、蕾がある程度大きくなって選別できるとなれば、緑色が濃くて、蕾やヘタが大きいものを残すよう心掛けてください。尚、遅れ花は大きくなりにくく、残っていると生理落果を引き起こすので全て除去してください。

極早生柿・刀根早生・平核無柿の摘蕾基準



富有柿の摘蕾基準



※樹勢の強い頂芽には着蕾させないようにしましょう。

●極早生柿の芽かき

極早生柿は結果母枝先端部の節間が短いため、摘蕾作業の負担が大きくなります。このため、摘蕾作業と同時に結果母枝の上芽と下芽から出た新梢を中心に芽かきを行ってください。芽かきを行うことで、摘蕾作業の効率化が図れます。



処理前

処理後

●ももの受粉

★受粉

ももは自家親和性があるため、花粉を持っている品種であればそのまま結実することができます。しかし、花粉を持たない品種(川中島白桃)は受粉が必要となります。

受粉の方法には、ミツバチを利用した授粉方法もありますが、天候等によって活動が抑制される場合がありますので、人工授粉を行うようにしましょう。

●病害虫防除

気温の上昇に伴い、病害虫の発生が増加します。各品目の生育を確認しながら、適期防除に努めてください。近年問題となっているものせん孔細菌病やすももの黒斑病防除は、降雨前の散布を心掛けてください。

品目	防除時期	適用病害虫	防除法	使用時期(収穫前日数)	使用回数	
モモ	落弁期(4月上中旬)	せん孔細菌病	バリダシン液剤5	500倍	7日前迄	4回以内
		灰星病・黒星病・うどんこ病	ストロビードライブロアブル	2,000倍	前日迄	3回以内
モモ	展葉5~6枚頃(4月下旬)	アブラムシ類・ケムシ類	オリオン水和剤40	1,000倍	14日前迄	2回以内
		せん孔細菌病対策として、風雨直前に以下のいずれかを散布する。 ・アブレット水和剤 1,000倍(60日前迄/2回) 中生・晩生種に使用可能 ・マイコシールド 1,500倍(21日前迄/5回)・バリダシン液剤5 500倍(7日前迄/4回) ただし、使用基準・収穫前日数に十分注意する。				
		果実赤点病・黒星病	ペンコゼブ水和剤	600倍	21日前迄	3回以内
モモ	展葉5~6枚頃(4月下旬)	せん孔細菌病	マイコシールド	1,500倍	21日前迄	5回以内
		アブラムシ類・モモハモグリガ	アドマイヤー水和剤	2,000倍	3日前迄	2回以内
シンクイムシ類発生園では、発芽後にエクスリルSE 5,000倍(前日迄/3回)昨年、うどんこ病の発生が多かった園ではペンコゼブ水和剤を、トリフミン水和剤 1,500倍(前日迄/3回)に替えて散布する。						

品目	防除時期	適用病害虫	防除法	使用時期(収穫前日数)	使用回数	
柿	展葉期(4月中下旬)	ケムシ類・ヒメコスカシバ・フタモン・マダラメイガ	フェニックスフロアブル	4,000倍	7日前迄	2回以内
		展葉初期にケムシ類多発園ではフェニックスフロアブルにかえてオリオン水和剤40 1,000倍(21日前迄/1回)を散布してください。				
柿	新梢伸長期(4月下旬~5月上旬)	落葉病・炭そ病	ペンコゼブ水和剤	400倍	45日前迄	2回以内
		カイガラムシ類・ケムシ類	オリオン水和剤40	1,000倍	21日前迄	1回

品目	防除時期	適用病害虫	防除法	使用時期 (収穫前日数)	使用回数
すもも	開花後 (4月上旬)	黒斑病	マイコシールド	2,000倍	21日前迄
		灰星病	バルコート水和剤	2,000倍	3日前迄
		アブラムシ類・ケムシ類	オリオン水和剤40	1,000倍	7日前迄
		アブラムシ類多発園では、オリオン水和剤40にかえてアドマイヤー水和剤2,000倍(21日前迄/2回以内)を散布する。(発芽期から開花期を除く)			

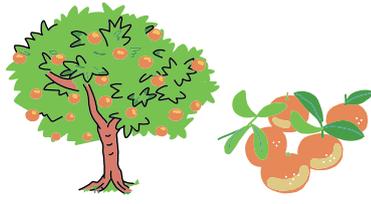
●もも・うめの施肥

生育期間中の施肥は、樹勢や着果量を考慮し調整してください。

施用時期	品目	10aあたり施用量	
4月下旬	もも	硫加	10kg
	うめ	燐加安366号	30kg

品目	防除時期	適用病害虫	防除法	使用時期 (収穫前日数)	使用回数
うめ	発芽期 (4月上旬)	かいよう病	マイコシールド	1,500倍	21日前迄
		黒星病	デランフロアブル	2,000倍	14日前迄
		カイガラムシ類	アブロードフロアブル	1,000倍	7日前迄
		幼虫	アピオン-E(展着剤)	1,000倍	規制なし
デランフロアブルはかぶれに注意してしてください。					
幼果期 (4月中旬)	かいよう病	マイコシールド	1,500倍	21日前迄	4回以内
	黒星病	ペンコゼブフロアブル	1,000倍	21日前迄	3回以内
かいよう病多発園では、コサイド3000 2,000倍(硬核期迄/規制なし)とカルワン 1,000倍を加用してください。					
肥大期 (4月下旬)	かいよう病	マイコシールド	1,500倍	21日前迄	4回以内
	黒星病・すす斑病	スコア顆粒水和剤	3,000倍	前日迄	3回以内
カイガラムシ類発生園では、モベントフロアブル 2,000倍(7日前迄/3回以内)を加用してください。青果用小梅では、マイコシールドの収穫前日数に注意する。					

品目	防除時期	適用病害虫	防除法	使用時期 (収穫前日数)	使用回数
かんきつ	4月	そうか病	デランフロアブル (かぶれに注意する)	1,000倍	30日前迄
		シャクトリムシ類・ケシキスイ類発生園ではロディー乳剤2,000倍(7日前迄/4回以内)を加用する。			



近年、温州みかん等の発生も増えているため注意しましょう。また、窒素成分が多い場合も発生しやすいため、肥料のやりすぎにも注意しましょう。

●病害対策

★そうか病

そうか病は、古い葉や枝で越冬した病原菌が主な伝染源となり、発芽期から気温が低く、降雨が多くなると感染が拡大します。

葉・枝・果実に発病し、葉や果実の組織が若い時期に感染すると「いぼ型病斑」になり、以降に感染すると「かさぶた状病斑」になります。病斑のある枝の剪除と、発芽〜展葉期(最も伸びた春芽が1cm程度の時期)の薬剤防除を徹底してください。

柑 橘

接ぎ木

接ぎ木は、新しい品種の導入や園地の品種構成を変える際に有効な方法です。

苗木を植えるより早く収穫に結びつくため、短期間での更新が可能になります。ただし、時期が遅れると切り口から樹液が流れ、活着率が下がるため注意が必要です。

適期は作物によって異なり、柿は発芽が始まる3月下旬〜4月中旬、柑橘は4月中旬〜5月上旬が目安です。

■接ぎ木の手順

★穂木の処理

柿では、乾燥を防ぐため、パラフィン処理(ろう付け)を行います。パラフィンを90度程度に湯煎で熱し、溶かしたパラフィンに穂木をささつけます。長時間つけると穂木が枯死してしまうので注意してください。

柑橘では、穂木に葉がついているので、蒸散を防ぎ、活着を助けるために、葉の付け根(葉柄)だけを残して葉身(葉の部分)を切り落とします。その後、乾燥を防ぐため、メデールテープを巻いておきます。

★方法

接ぎ木の方法には、切接ぎ・割接ぎ・腹接ぎ等があります。それぞれの特徴を下記の通りまとめていますので、ご確認ください。

○割接ぎ

接ぎ木接合部の固定が強力で活着後裂けにくい接ぎ木方法。切接ぎに比べると形成層の接着面積が狭くなる。



○切接ぎ

活着率が高く、一般的な接ぎ木方法。固定が弱いため、活着後接ぎ落ちすることが多い。



○腹接ぎ

枝のないところに枝を作れる接ぎ木方法。切接ぎ・割接ぎに比べ活着率が低い。



水 稲

●水稲施肥

穂木の切り方は、両面形成層がでるまで削ります。穂木と台木の形成層同士がぴったり合わせるように差し込み、形成層同士が動かないようにしっかりと合わせて、雨水がはまらないように接ぎ木テープで固定しましょう。穂木の切り口や隙間は、乾燥しないよう癒合剤(トップジンMペースト)を塗布してください。

●耕起前(10a当り)

省力タイプ	農力アップ100kg アツミン40kg
低コストタイプ	
一般タイプ	

※省力及び低コストタイプは、土壤改良資材を必ず施用してください。





1/10 SAT **終活セミナー**



終活セミナーを開き、36人にご参加いただきました。
 テントゥワン税理士法人の前田直樹氏を講師としてお招きし、「家族が困らない“いまからの準備”とやさしい相続のはなし」をテーマに解説。前田氏は「終活は“死の準備”ではなく、“これからを安心して生きるための準備”。無理なく少しずつ、“いまから”の準備を進めてみましょう」と参加者に語りかけました。セミナーでは、エンディングノート「いまから帳」の内容を考える時間も設けられました。



紀北地域の最新ニュース!



NEWS&TOPICS

1/4 SUN

やっちゃん広場で おしるこふるまう



一年の幸せを祈念して、やっちゃん広場の来店客に300食のおしるこを振る舞いました。小さなお子さんからご年配の方までたくさんの方におしるこを味わっていただき、笑顔になっていただけました。2026年もよろしくお願いたします!



1/20 TUE

1/21 WED

年金友の会一泊旅行

静岡県、熱海温泉を巡る冬の一泊旅行を実施し、80人の会員に満喫いただきました。

三島スカイウォークや熱海城を巡って、熱海温泉でゆっくりとくつろぎ、日本平夢テラスにも立ち寄って、景色を楽しみながら買い物を楽しんでいただけました。

旅行を通じて会員同士の親睦を深めることができました。



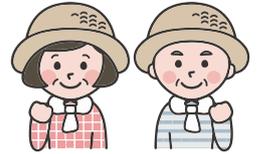


1/22
THU

シルバー人材センターで柿の剪定講習

シニア世代を対象に柿の剪定講習会を開き、営農指導員が講師となって、九度山町にある柿園地で剪定の実技講習を行いました。この講習は、60歳以上の高齢者が必要な技能を身に付け、自信を持って就業できるように、橋本市シルバー人材センターとJAが協力して取り組んでいます。

受講者は「実際に園地で作業できたので分かりやすかった。ここで学んだことを身に付けたい」と話しました。



1/29
THU

西垣さんが緑白綬有功章受賞!

かつらぎ町星山で柿・柑橘などを栽培する西垣俊秀さんが、大日本農会の令和7年度農事功績者表彰で、緑白綬有功章を受賞。地域本部を訪れ、小倉地域本部長に受賞を報告しました。緑白綬有功章は、農業の技術研究や経営改善、地域発展に貢献した農業経営者に授与される栄章です。

西垣さんは、園内道の整備により大型機械を導入し、省力化を実現。柿産地のモデル園地として、有効な栽培技術の導入や、県オリジナル品種「紀州てまり」の産地化に尽力しました。また、営農指導員の経験を活かし、県指導農業士や県国際農業者交流協会会長として、国内外の研修生を多数受け入れ、後継者育成に貢献したことが評価されました。



1/28
WED

営農指導員グループ研究発表会

営農指導員グループ研究発表会を開き、営農指導員がグループごとに1年間の研究成果を発表しました。

生産専門委員長やJA役職員、営農指導員ら26人が参加し、発表を評価しました。

最優秀賞は、果樹Aグループの「市場に求められるキウイフルーツ生産方法の確立について」が受賞しました。

発表を担当した営農指導員の井上知映さんは、「県内一体となって高品質なキウイフルーツの安定生産を行い、ブランド力を高めることで生産者の所得向上に繋がりたい」と話しました。

2/12
THU

女性会で米粉ブラウニーづくり

バレンタインデーを前に、米粉ブラウニーづくりの料理教室を開き、31人の会員が参加しました。食感と香りを楽しめるよう、クルミとオレンジピールを生地に混ぜ込んで作りました。生地に米粉を使用しているため、小麦アレルギーのある方でも安心して食べられ、焼き上がりはしっとり仕上がります。

参加した会員は「混ぜて焼くだけで簡単にできてうれしい。家でも挑戦してみたい」と笑顔で話しました。



フードバンク活動

「もったいない」を「ありがとう」に

日持ちする食品や農産物などを組合員が持ち寄り、フードバンク和歌山や社会福祉協議会などへ寄贈しました。集まった食料は、フードパントリーや子ども食堂などで、必要としている人に提供されます。紀北地域本部ではSDGs・地域貢献活動の取り組みとして、これからも支援の輪を広げていきます。



8/7・9/4・12/2
女性会
フードバンク和歌山へ寄贈



8/7
橋本西部支店
フードバンク和歌山へ寄贈



6/4 かつらぎ東支店
「みんなの食堂」
もぐもぐカフェへ寄贈
調理にも参加しました



2/20 橋本東支店
橋本市社協へ寄贈



1/30
かつらぎ支店・
かつらぎ南支店
かつらぎ町社協へ寄贈



12/2 高野口支店
フードバンク和歌山へ寄贈



2/3 橋本支店
橋本市社協へ寄贈



皆さんからお預かりした思いやりの気持ちを、支援を必要としている人へお届けしたよ!

J Aわかやま女性会 紀北地域本部

第1回家の光大会・文化講演会

令和8年1月30日、第1回JA家の光大会・文化講演会を
かつらぎ総合文化会館あじさいホールで開催し、145人が参加しました。
展示やステージなどで女性会の日頃の活動成果を発表しました。

健康体操研究家 己抄呼
～Misako～さんによる講演



手芸や陶ペイントなどの
会員の作品120点が
展示されました



リズム体操サークルによるダンス



会場が一体となりました！



大正琴サークルによる演奏



たくさんの方にご来場いただきました！

法律相談会

4月17日(金)

場所：紀北地域本部3階
時間：午後2時～5時まで

JAでは弁護士による無料法律相談を組合員及びご家族の方を対象に毎月開催しています。相談時間は30分以内です。秘密は厳守いたしますので、安心してお申し込みください。定員となり次第締め切らせていただきます。

- ☐お問合せ先／紀北地域本部総務生活課
☎0736-42-5172
- ☐組合への加入は最寄りの支店へご相談ください。

ローン相談会

4月5日(日)・12日(日)・
4月19日(日)・26日(日)

☐場所／橋本支店 1階
☐時間／午前9時～午後4時まで

地域の方の住宅ローンなど各種ローンのご相談やお申込み受付を行っております。完全予約制となっておりますので、ローンセンターまでお気軽にお問合せください。

- ☐お問合せ先／ローンセンター
☎0736-33-2922



農業振興支援制度 組合員向け説明会

農業振興支援制度は、担い手の確保や農業所得の向上を図るため、組合員をはじめ、新規就農拡大に取り組む団体や親元就農・新規参入者をサポートする助成制度です。組合員向け説明会を開催いたしますので、ぜひご参加ください。

- 日時** 令和8年 4月 3日(金)
- 時間** 午前10時～
- 場所** かつらぎ支店 2階会議室
(伊都郡かつらぎ町大谷1201-1)
- 時間** 午後1時30分～
- 場所** 紀北地域本部 4階大会議室
(橋本市高野口町名古屋922-2)